

研究所だより

発行日:2023.12.21 発行:稚内市教育研究所
〒097-0012
稚内市富岡1丁目1番2号(風〜るわっかない)
TEL・FAX:0162-73-6386
E-mail:wak-kenkyujo@abelia.ocn.ne.jp

「ICT活用講座」が終了しました

講座の様子を一部紹介します

稚内市 ICT 活用状況調査から、一人一台端末を活用した教育を進めていくために、授業・学習支援アプリの導入の他、「教員間の活用ノウハウの共有、ICT 機器を活用した教科指導に関する研修」を望む声も大きいことがわかりました。これを受け、ICT 講座第2弾として、10月3日を皮切りに11月27日まで全5回の ICT 講座を開催し、延べ43名の方に参加いただきました。ご多忙の中、講師をお引き受けいただいた5人の先生方、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

内藤先生には、「ロイロノート」の機能の1つである、リアルタイムで意見を集め、思考を共有するやり方、後半は、ICTの活用により校務の効率化を図っている様子についてお話いただきました。吾妻先生には、Google クラウドを活用した他者参照の方法やルーブリックによる学習評価の仕方、デザインアプリ Canva について、佐々木先生には前任校で1年間取り組んだ遠隔授業についてお話いただいた後、参加者の要望(講座の始めにアンケートを実施)に応える形で Google アプリの詳細について説明いただきました。小林先生には、「ロイロノート」のログインから始まる基本操作や活用事例、教材の作り方を紹介していただき、最終日の嶋野先生には、Windows、Google…などの端末でも利用できる Web アプリの他、無料で利用できるコンテンツを配信している教科書会社や研修センターのサイトを紹介していただきました。

どの講座も参加者がタブレットを操作し、体験的に学ぶことができました。既に使っている Google アプリに多くの機能が合ったこと、教科の目標を達成するのに有効であったり、学びが豊かになったりするアプリが沢山あること、ICT の活用による校務効率化のためのアイデア等、多くの情報やご示唆をいただきました。(1時間では足りず申し訳ありませんでした。)

【講師 内藤 修司先生】「GIGA スクール導入と校務の ICT 化」

Google やロイロなどのツールを使う際には、それぞれの得意なことやアナログの良さを見極め、適切に使用することが重要である。特に、GIGA の導入により Google アプリで作成した資料の保存先が増えたため、何がどこに保存されているかわかりづらくなっている。この問題に対処するために、東小学校では校務の効率化を図るために様々なデータを集約し、目的や用途ごとに管理している。具体的には、Windows で保存できる資料は校務共有フォルダに保存し、Google ドライブにしか保存できない資料は Google 共有フォルダに保存するというルールを明確にしている。また、両方の共有ドライブのフォルダ名を同じにすることで、データの管理をしやすくしている。

さらに、先生方にもツールの使い方を理解してもらうために、教務通信などで情報発信を行い、共通理解を図るにも取り組んでいる。使い方が分かると先生方も積極的に利用してくれるため、学校全体での情報共有や活用が進められている。

フォームを使った仕事の仕方の話もあってとても良かった。色々なツールを上手く選択し、効果的に使っていけたら良いと思う。ロイロにこういった機能があるのか勉強することができた。校務の効率化を図る上でも実際にやっていること、困っていることを知るのが大事と感じた。グーグルサイトに週予定と月別行事を作ってみます。



10月3日(火)16:00-17:00

【講師 吾妻 祐輔先生】「GIGA の他者参照機能 & Canva の使い方」

クラスルーム内の「授業」→「+作成」→「課題」という順にクリックし、タイトルを入れて課題を作成。提出物を生徒同士が見合うことができるようにする設定方法、閲覧のみ・編集の権限設定、コメントや絵文字の入れ方、「課題」や「テスト付きの課題」にあるルーブリックという機能を活用し、ABCの評価基準を作成し、提出物に評価結果を入れて返却する方法を教えてくださいました。評価基準を事前に提示することで、生徒が学習目標や見通しをもって学習に取り組むことができるので、日常の授業に取り入れているが、作成済みのルーブリックを再利用する方法やスプレッドシートからインポートする方法もあり、作成の負担は軽減できるそうだ。

後半はデザインアプリ「Canva」はテンプレートが沢山あり、ドキュメントやパワーポイント資料等、生徒の発想を生かした独創的なものを作成するのに効果的である。参加者もオリジナルマークづくりを行った。

丁寧に教えていただき活用方法がわかった。Curve というアプリは創造的なプレゼンテーションなどを作成するのに大変有効だと思った。共同編集機能の使い方や、児童生徒の提出物にルーブリックを用いて評価し、返却する方法も勉強になった。ロイロとグーグルのアプリなどの機能を理解し、どちらも使いこなせるようになると良いし、その必要があるとも思った。



11月7日(火)16:00-17:00

【講師 佐々木 亮先生】「遠隔授業 & Google アプリ」

へき地校の課題解消として社会科の遠隔授業を1年間実施した。また、修学旅行の事前学習として、ウポボイの学芸員からお話を伺った。生徒達が課題意識をもって見学することができ、深い学びとなった。遠隔の技術が進んだ成果であり、遠隔のよさを感じる取組であった。

Google のクラスルーム、「ストリーム」は教師と生徒の双方からお知らせに投稿できる。「授業」は課題の配布、回収、進捗確認、採点、フィードバック、保管ができる。フォームはアンケートや申込フォーム、テストなどを作成できる。単元テスト「知識・技能」はフォームで実施しているが、自動採点機能があり丸付けは不要。Googleの最大の強みは「クラウド上での保存・編集」「複数人での共同作業」ができることである。権限設定には留意する必要がある。

フォームでテストを作成する時に、「設定」のロックモードをオンにすると生徒がテスト中に他のタブを開けなくなる。目的に応じて切り替えると良い。オンの時は1回のみだが、複数回答できる設定やそのたびに選択肢の順が入れ替わるようにも、質問をインポートすることもできる。

他の Google アプリや「テキストマイニング」の使い方についても教えていただいた。

グーグルをより活用できる技を教えてくださいました。実際にアンケートを作って配信し、結果を見てその後どうすればいいかなど、体験できた事がよかった。使ってみたことでわからないことや「こんなふうにしてみたい」という要望にも応えてもらい、有意義だった。思いもつかない場面が出てきたときの使い方まで教わるのができ、大変有意義な研修だった。先生達の仕事量の軽減のために、大いに使えるといいと思う。学んだ事を他の先生に普及させられるよう尽力したい。



クラスルームを開き、クラスに参加、ストリームに投稿された URL からアンケートに回答。



11月9日(木)16:00-17:00

【講師 小林 巧治先生】「授業支援アプリ『ロイロノート』」

ロイロにログインして「授業」を選択し、右上の…から「ノート(自分の作業スペースのこと)」新規作成。先生から配布されたテンプレートに紹介文やカメラで撮影した写真を入れて作成。文字は、ダブルクリックするとノート上にテキストが出てくるので入力、左上の+を押すと出てくる付箋に入力、ペンで直接入力する方法がある。写真は+を押してカメラマークを選択して撮影。完成したカードは提出箱に提出。と、前半は自己紹介カードを作りながら基本操作について教えていただいた。

後半は、「ロイロスクラッチ」やそのスクラッチや付箋を使った「穴埋めプリント」などのアレンジ教材、テキストカードや写真、PDF など全てのカードの中にカードを入れることができる「カード in カード」、スクリーンショットを使ったカードなどのオリジナル教材、Web カードについても教えていただき、教材づくりに挑戦した。

具体的な教材づくりが体験できてとてもよかった。来年度から市内の学校で使われるので、今回のような具体的な活用方法を教えて欲しい。生徒がロイロノートを使ってどのようなことができるのかを考えることができた。PDF にしておくことで、色々な活用方法があるとわかった。各学校の授業実践例や使用した資料を市としてストックできるフォルダがあれば、教材研究の面、自己研修の面、働き方改革の面でありたい。



11月21日(火)16:00-17:00

【講師 嶋野 和彦先生】「教育現場で有効な Web アプリ・Web サイト」

①タイムシフトカメラ~時間差(1~30秒後に設定可能)で動画が流れる。例えばマット運動の際、マットからタブレットまで行く時間を考慮して「〇秒後」と設定しておく、運動後すぐに動画で自分の動きを確認できる。「左右反転」で録画をすると、リコーダーの運指やラジオ体操・民舞など指導にも効果的である。

②Chrome Music Lab~SHARED PIANO は演奏ができるアプリ。A:ド B:レ、C:ミ…とキーに音階が割り当てられているが、ZとXでオクターブ上げ下げができる。録音も可能。クラスルームに URL を貼り付け、そこから開くと合奏ができる。SONG MAKER は作曲が簡単にできるアプリ。中学校での活用例が多いが、テンポや小節数、リズム等々を設定できる。5・6年の曲づくりの学習での活用を薦める。

Chat GPTについても文科省のガイドラインと留意点、作文推敲での活用事例について説明していただいた後に参加者も体験。推敲場面での有効性を実感した。

文章の推敲は仕事でも大いに使えそう。資料を頂いたので学び直しができる。有意義な研修になった。色々なアプリや教材があることがわかり大変勉強になった。使ってみることで、情報を集めること、研修に参加することを心がけます。知っていることで指導にいかせて、最終的に子どもたちによりつけたい力が身につくように感じた。



11月27日(月)16:00-17:00

【要望・感想(一部抜粋)】ありがとうございました!

・困ったときのヘルプセンター的な役割を研究所が果たしてくれるとありがたい。研究所が直接回答しなくても、長けている人に繋いでくれるだけでもありがたい。

・*いつでも、遠慮なく研究所にお問い合わせください。
・基礎的なことだけでなく、中級編、上級編などがあれば参加したいと思う。

*次年度、基本・中級・上級の各講座を企画する予定です。

Jamboard が使用できなくなります!

Jamboard は 2024.10.1 まで動作、それ以降は表示専用。12.31 で全てのデータが削除される。残したいデータはエクスポート、または別のアプリへ移行する必要があります。Google では「FigJam」「Lucidspark」「Miro」を案内。今後、Google では「Jamboard データの保存方法および FigJam への移行手段を提供する予定」だそうです。また、ヘルプセンターも開設されるそうです。